

(地震と水害) 二度の災害に見舞われた石川県能登半島に

募金活動ご協力ありがとうございました。

11月26日(火)

来年の1月で阪神淡路大震災から30年目となります。1995年1月17日午前5時46分、阪神・淡路大震災が発生しました。戦後初の大都市直下型地震は、関連死を含め6434人の命を奪い、住まいや仕事など暮らしの土台を崩壊させました。あの震災から四半世紀の月日が流れました。コロナ禍や被災者の高齢化により取りやめになっていることも報道されていました。また、3月11日は東日本大震災から14年となります。私たちは今後も命を守り、自分の地域(町)を守るためにも、災害の記憶を風化させてはいけません。

～依頼文書～

地震と水害、二度の災害にみまわれた能登…私たちと同じ中学生の尊い命も奪われました。行きたい高校があっただろうし、叶えたい夢もあっただろう…でももう二度と夢を叶えられないし、叶える努力をすることもできません…能登に思いを馳せ、ささやかではありますが、この募金を義援金として、輪島市に送りたいと思います。

どうかご協力お願いします！

丹波市立青垣中学校生徒会

11月2日(土)に行った青垣中学校第64回の文化祭で3年生41人が作った丹波布の小物をチャリティバザーとし、生徒会文化委員会が中心となって、お昼の時間を使い保護者に呼びかけた。集まった金額は17000円。ささやかな金額ではあるが、輪島市に送るとともに、自分たちに今できることを精一杯頑張りたいと進路実現に向け、決意を新たにしました。

